

課題4．子どもと家族へのボランティア活動

活動項目	活動項目別の実績(概要)
実施活動	<p>1. ボランティア受入状況 子どもと家族の心の安らぎなど、子どもの療養環境改善のため導入。 H13.11.1 当センターオープンと同時に受け入れを開始。 1) ボランティア受入要領の策定 (H13.11.1) 2) ボランティア募集：県・名古屋市社会福祉協議会等にポスターやチラシにて 3) ボランティア受け入れ状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数：H14 年度登録者 95 人、延べ登録者数 226 人 ・団体登録数：2 団体（小児の森プロジェクト、ミシンでの活動グループ） ・ボランティア活動時間(H14 年度) 月平均実活動者 42 人、延活動者 1345 人、延活動時間 4,855 時間 <p>2. ボランティア活動内容 (Bauen Platz としてグループ化) 外来ふれあい活動：外来案内・プレイルーム活動、ミニ水族館活動 病棟ふれあい活動：学習・音楽・英語ボランティア、わくわくワークなど 環境さわやか活動：生花の活け込み、園芸、草取り、季節の飾りつけ 心療科の自閉症学習会ボランティア：事前レクチャーの実施の元 イベント企画協力：行事他へ実行委員会から参加 自主グループ活動：大府市福祉健康フェア・21 世紀愛知の子ども健康フォーラム出展 アchemeckの森(小児の森)プロジェクト：センター隣の森の小径づくりの会を 4 回開催</p> <p>3. ボランティア委員会 (別添)</p> <p>4. ボランティアさんへの感謝の集い(H15.3.14：40 名参加) センター長講演会、感謝状贈呈、ボランティアと職員との交流会</p>
教育・研修	<p>1. 事前オリエンテーション：平成 14 年度から隔月に開催 ボランティアさんに望むこと - 出会いを大切にともに成長していくために - 医療ソーシャルワーカー 大橋 信彦 外来・病棟で出会う子ども達は... - 安全への気配りと、感染を防ぐために - 外来師長 鈴木 友子 遊びは心の栄養です - 子どもひとりひとりと真剣に楽しむために - 保育士 原 純子 子ども心、親の心、自分の心 - ひとりの人間として、出会うことを大切に - 臨床心理士 海野 千畝子 ボランティア活動、感染症問診票にて結核始め各種感染症への注意・検診の勧め、ボランティア保険 自己紹介、施設見学ツアー 保健師 塩之谷 真弓</p> <p>2. 事後研修会 (H14.6.14：12 名参加、H14.10.21：19 名参加) H14. 6 月：子ども達との関わりの中で気付いたこと、みつけたこと 大河内 修 H14.10 月：感染症を知ろう - 安全への気配りのために - 山崎 嘉久</p>
情報サービス	ホームページにボランティア募集とオリエンテーション案内の掲載

この事業に関連した実績としての調査報告やパンフレット、インターネット情報

資料の名称	発行日等	資料番号
ACHEMEC の仲間たち - 子どもと家族の心に安心と安らぎを - (ボランティア活動報告集 2)	H15 年 3 月	

事業項目ごとの評価：子どもと家族へのボランティア活動

<p>評価の方法・手段</p>	<p>1．ボランティア登録者数、活動時間、内容の評価</p> <p>2．自主グループ化の評価：ボランティアニュースレターの発行、バザー他自主グループ活動の広がりなど</p> <p>3．アンケート調査</p>
<p>評価の概要</p>	<p>1．有用性</p> <p>1) ボランティア登録者数</p> <p>登録者数は平成14年度末226人と増加しているが、各月の実活動者は21人～51人と幅広く、平均42人であった。</p> <p>実活動者は多くはないが、活動時間は平成14年度1年間で4,855時間と多かった。これは、個人的に活動時間が多い方があること、イベントなどのはっきりした目標があったときに活動時間が増加したことが関係している。</p> <p>2) 自主グループ化について</p> <p>Bauen Platzとしてグループ化し、大府市社会福祉協議会にグループ登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の会議や研究会に参加 ・独自のホームページを作成しイベント情報や掲示板運営などを運営 baubau HP : http://www5d.biglobe.ne.jp/baubau/ ・ボランティアニュースレターについては1～3号を発行し中断中 ・大府市福祉健康フェア出展：活動紹介とバザー ・21世紀愛知の子ども健康フォーラム出展：ボランティア情報コーナー、子ども積み木コーナー・工作コーナー・ゲームコーナー、バザーコーナー ・独自の講習会の開催 ・当センター行事(夏祭り・クリスマス会)に実行委員を作り企画から参加 <p>3) アンケート調査</p> <p>継続の意志確認と希望活動内容などの調査を実施中</p> <p>2．問題点</p> <p>目的のはっきりしている行事や自主グループでのバザー等への出展には活動者が増加する傾向となった。しかし、センター内での外来ふれあい活動(外来案内・プレイルーム活動)などへの活動者は減少傾向にあり、病棟での学習・英語ボランティア活動など目的のはっきりした活動は広がってゆく傾向にあった。</p> <p>3．業継続に関する意見</p> <p>外来を受診する子どもや家族から、ボランティアがいることによる安心感、療養環境改善への感謝の声が届いている。外来内容の充実に合わせ、職員全体はもちろん外来での部署担当者からのボランティアへのサポートに力を入れ、自主活動として継続できるようにしてゆく必要がある。</p> <p>また、病棟の増加、子ども図書館や患者家族宿泊施設の運営、ボランティアをコーディネートする事務作業など、今後の充実を図ってゆきたい。</p>

ボランティア委員会報告

委員会名	平成 14 年度 第 1 回 ボランティア委員会
開催日時 場 所 参 加 者	日 時 平成 14 年 12 月 5 日 (木) 午後 4 時 ~ 午後 6 時 30 分 場 所 会議室 参加者 (山崎、飯田、大石、柴原、竹内、渡辺、大橋、原、塩之谷) 9 名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいち小児保健医療総合センターボランティア受入状況について 2 Bauen Platz の活動報告 3 ボランティアと職員の交流会 4 Bauen Platz の会計報告とセンター運営協力について 5 今後のボランティアの受け入れ 6 その他
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア受入状況：H14.11 までに 203 名を登録 2 Bauen Platz の活動報告：大府市社協や研究会への参加、行事への協力、福祉健康フェア・21 世紀あいちの子ども健康フォーラム出展 3 ボランティアと職員の交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・ H15.3 の夕方から実施については了承。 ・ 職員の感謝をあらわす会として何回もやった方がよい。 ・ ボランティアに交流会の連絡をしながら連絡先をうかがう。 <p>感謝状について</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的 (お花のボランティア深谷さんのような) ・ 長さ (家永さんのような) ・ 企画大賞 ・ 行事大賞など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労をねぎらえるとよい ・ 家族にも理解してもらえて、出かけやすくなるのでは。 <p><u>今年はまだ 1 年経ったところなので、ミニ感謝状を全員に発行</u> (A4 横書き、ボランティア委員長名で)</p> 4 Bauen Platz の会計報告とセンター運営協力について <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来プレイルームでのボランティア活動充実のため「木のおままごとセットのおもちゃ」を購入予定。ボランティア活動用のシールを。 5 今後のボランティアの受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務作業をするボランティアの確保 (車椅子の学生さん他) ・ H15 年フルオープン：活動の場が広がる <ul style="list-style-type: none"> …図書館、病棟など ・ 管理課：宿泊施設の運営のためボランティアに声を掛けたい 2 期オープン後は受付に 1 人いて欲しい ・ メニューの提供の仕方を考えていくことが大切 ・ 今回ボランティアと職員の交流会の案内をする際アンケートを実施。 継続の意志を確認し、希望活動内容を取ってゆくこととする。